

～地域とヒトの絆でつくる「うまいかんきつ」～  
**横林 徳幸さん（松山市（旧北条市））**

株式会社横林農園 代表取締役  
松山市認定農業者協議会 会長  
1972 年生まれ



☆経営概況☆

松山市北条の小山田地区で、果樹栽培を営んでいます。経営規模：300a  
栽培品目：伊予柑 150a、紅まどんな 60a、キウイフルーツ 30a、温州みかん 20a、  
その他かんきつ 40a  
労働力：常時雇用3名、パート2名、アルバイト 2名

☆ここがポイント☆

■農業に対する特別な思い

私が就農を決意したのは 39 歳のときでした。それまでは県立高校で農業の教員をしていましたが、「地元の農業を支えるのは自分しかない！」と感じ、**Uターン就農**しました。当時、人生の折り返し地点をむかえ、「農業に挑戦できるのは今しかない」と情熱にあふれていました。

■農業経営のヒントは、地域や人との対話から

農業は自分 1 人だけではできません。地域とのつながりも大切ですし、一緒に作業する従業員との**コミュニケーションも大事**です。教員時代にも「生徒との対話」の中から多くのヒントをもらいました。

■条件が悪くても「うまいかんきつ」づくり

私の園地がある小山田地区は、山に囲まれ、凍霜害や鳥獣害なども多く、かんきつに適したところではありません。しかし、条件の良い場所を選んで、園地ごと、品種ごとにきめ細かな管理を行い、「**うまいかんきつ**」づくりに向け栽培法を探究し続けています。

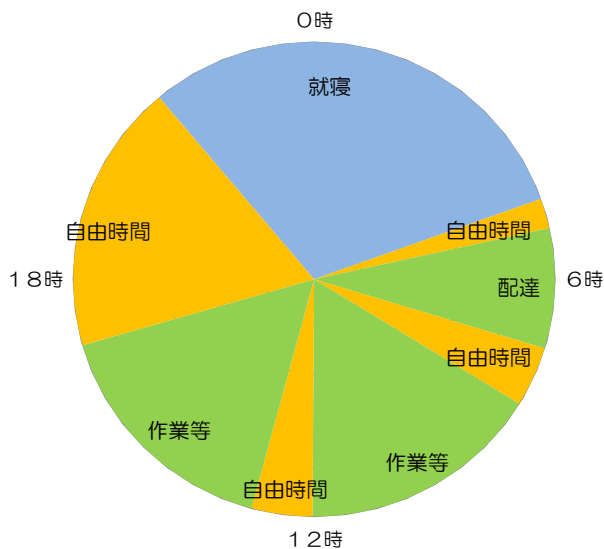


柑橘の袋詰め



紅まどんなの収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

農業は収穫時期などは本当に忙しいですが、天候や作業内容を確認し、しっかりと管理すれば、他の職業より融通がききます。

私はどんなに忙しいときでも、子供の行事、他の農業者との交流、地域のボランティアなど、大事な予定がある場合は、そちらを優先しています。

農業は自分1人ではできないので、人とのつながりを大切にして、交流の場には積極的に参加しています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（天候等により作業が少ない時が休日）					
← 作業等 →						
【普通期】						
← 作業等 →						← 休日 →



紅まどんなのハウス



家族で柑橘の袋詰め

☆これからの夢や目指すもの☆

将来、子供たちが農業をやりたいと思えるように、安定した経営を行うことです。

平成29年9月に法人化したばかりですが、これからどんどん規模拡大や販路開拓を行って、地域の農業を引っ張っていきたいと思います。

☆メッセージ☆

将来どんな仕事に就こうか決めかねている方は、自分が本気になれることを探してほしいと思います。私が本気になれたのは「農業」であり、様々な問題に直面した時も「本気になればなんとかなる」をモットーに前に進んできました。

これからも、どれだけ自分が本気になれるか、日々挑戦していきたいと思います。